

# TUCAS 2019参加報告書

---

令和元年 8月26日

群馬大学理工学部電子情報理工学科 栗田研究室 猪股諒

## 参加学会名称

2019 Taiwan and Japan Conference on Circuits and Systems (TJCAS-2019 at Nikko)

## 開催場所・期間

### 開催場所

- 輪王寺「紫雲閣」1,2階
- hotel 「千姫物語」
- 日光東照宮「客殿」

### 開催期間

- 2019/08/19(月)~8/21(火)

## 学会について

### 1. 学会について

TJCASは米国電気学会(IEEE)が主催する、回路及びシステム関係の学会である。日本と台湾における最新の結果について交換し、相互に高めあうことを目的としている。

本会議は2015年から開催しており、5回目となる今回は栃木県日光市で開催された。群馬大学栗田研究室からは3名(学生1名、教職員2名)が参加し、2件のポスター発表を行った。

### 2. 発表

8月21日の Poster Session 4 の 4S (Special Session II) でタイトル「Auto-Drawing Program of flex-PCB Windings」のポスター発表を90分間行った。内容は、開発中の小型磁気浮上モータAFTMに関して、コイル部分をflex-PCBで製造する為に使用する基盤データを自動的に作成することができるコンピュータプログラムを作成したことを発表するものである。観覧者に対して積極的に話しかけより多くの方に聞いていただくことができた。また、落ち着いた発表ができたと感じている。ありがたいことに、Best Student Paper Award を受賞することができた。

今回の研究はWolfgang Gruber(Inst. of Electrical Drives & Power Electronics, JKU Linz)、岡安孝様(日本シイエムケイ株式会社)にご指導をしていただきました。心より感謝申し上げます。

### 3. 交流と文化体験

自分の研究を紹介し、基調講演や他の方のポスター発表を聞かせていただいた。分野の違いにより直接的に参考にできる部分は多くはなかった。しかし、ミュレーションの進め方や使用環境など関心があった部分について聞くことができたことは収穫であるし、そして様々な分野の研究の様子を見ることでモチベーション

になったと感じている。また、台湾の学生や日本の他大学の学生と会話し、連絡先を交換できたことも喜ばしい事であった。

日光市は歴史的建造物が多くある。日光東照宮や周辺寺院の歴史に触れることができた。

#### 4. 今後の抱負

初めての国際学会であり、大変貴重な体験をすることができました。本会議で発表した内容は実験装置の補助装置を作ったのみです。現在は実際にPCBを製造する段階に入っているため、高精度のPCBが作成できるように精進して参ります。

このような貴重な機会を与えて下さり、研究を指導して頂いた栗田伸幸先生、アドバイスをいただいた高橋洋平さん、学会ホストの小林春夫先生をはじめとしてお世話になった様々な方々に感謝申し上げます。



写真1: 開会の様子



写真2: 日光東照宮